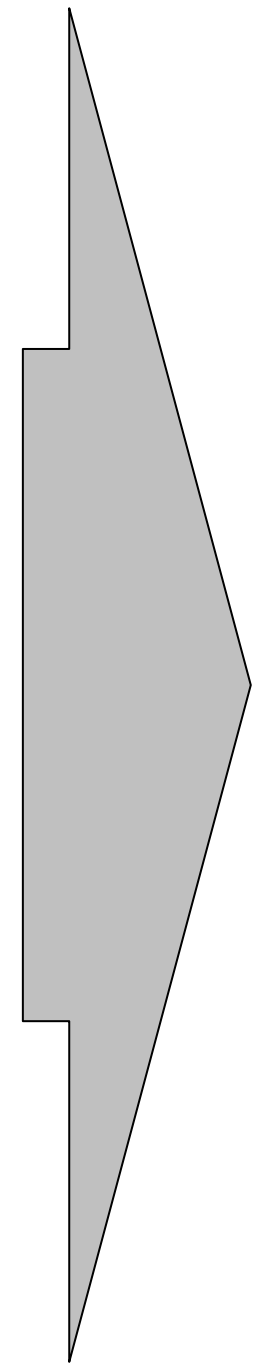


1 期計画の基本方針	1 期 計 画 の 検 証（課題整理）				2 期計画での対応	
	1 期計画で効果が十分発揮された	1 期計画では効果が不十分であった	1 期計画では準備が整わなかった	新たに浮上した課題		
住みたいまちの実現		● 中心市街地への転入・中心市街地内での住み替え促進施策の実施	● 低未利用地の増加防止 ● 老朽化した店舗兼住宅の改修支援	● 公共交通整備による、中心市街地居住者の日常生活の利便性の向上	重点対応	
	●総合病院整備や健康福祉施設整備による医療福祉環境の充実 ●公園、道路等の整備による景観や歩行環境の充実 ●コミュニティ活動による「住み続けたい」という意識の醸成 ●公共交通整備による、中心市街地エリア内の交通不便地域の解消	●地域活動の担い手育成 ●UJIターンの情報提供の仕組み構築 ●住み替え情報の提供 ●空き地・駐車場等の低未利用地の宅地への転換（モデル事業どまり） ●生鮮食料品、日用品販売店舗の不足解消、生活関連商業の充実	【長期課題】 ●街路樹等の街なかの緑不足解消	【長期課題】 ●スマートグリッドの推進		継続
	●大型民間集合住宅整備による人口の増加	●大規模なコンバージョンや共同建て替え				完了
行きたいまちの実現		● 既存公共公益施設の老朽化対策 ● 空き店舗の商業・業務等の利活用促進	● 駅北口と駅前商業街区のアクセス改善 ● 駅周辺の低未利用地の利活用促進	● 拠点施設の集客効果の周辺への波及 ● 観光バスの待機場所の確保 ● 点在する施設等を巡る公共交通等の整備による中心市街地来街者の利便性・回遊性の向上	重点対応	
	●商業、業務、医療等の拠点整備による集客と周辺歩行者通行量の増加 ●一定の新規出店数の確保のための開業支援 ●イベント開催等を通じた来街機会の創出 ●継続的な街なか情報提供の仕組みの構築 ●文化・観光施設の入館者数の増加対策	●案内施設、休憩施設、大型バス待機施設等の整備による、観光客等受け入れ体制の充実 ●駅北口風紋広場の活用促進による、恒常的な賑わいの不足の解消 ●商店街・個店の魅力向上による、オリジナリティ不足解消 ●各種イベント開催等を通じた人材育成と新たなネットワークの構築（後継者不足対策も含む） ●中心市街地の施設等の認知度の向上に向けた情報発信 ●観光、ビジネスにおけるレンタサイクルの利用促進 ●空き店舗情報の充実	●駅前サンロードのアーケードの老朽化対策 ●駅前太平洋線でのにぎわい創出として歩行者天国を実施した場合の、う回道路確保 ●防火建築帯の共同建て替えモデルの確保（1階の商業活用）	●袋川の活用による、にぎわいの創出		継続
		【長期課題】 ●建物外壁の老朽化対策、デザイン、色彩等の統一による景観の向上 ●駅北口バスターミナルの環境改善 ●お堀端周辺の修景・景観保全 ●バリアフリー化の推進 ●廃業した店舗がそのまま空き家化することの防止 ●長期間放置されている空き店舗への対応		【長期課題】 ●事業所の誘致による、働く場の拡充		
	●わらべ館のイベント会場としての西町広場整備					完了



2 期計画の重点施策	2 期計画の基本方針
<p>①街なか居住を促進するための既存ストックの活用</p>	<p>【街なか居住の推進】 日常生活サービスを徒歩圏内に充実させることにより、幅広い世代が自動車に頼ることなく暮らすことのできる中心市街地を形成する</p>
<p>②鳥取駅周辺の多機能集積によるにぎわいの再生</p>	<p>【賑わいの創出】 自然、歴史、文化などの地域資源を保全・活用・発信するとともに、多様な人、物、情報が行き交う拠点や仕組みを整備することにより、にぎわいと魅力が創出される中心市街地を形成する</p>
<p>③公共交通等による中心市街地内移動の利便性強化・回遊性向上</p>	